

2026年度
第62回 北信越ソフトテニス選手権大会
実施要項

- 1 主催 北信越ソフトテニス連盟
新潟県ソフトテニス連盟 長野県ソフトテニス連盟 富山県ソフトテニス連盟
石川県ソフトテニス連盟 福井県ソフトテニス連盟
- 2 主管 富山県ソフトテニス連盟 富山市ソフトテニス協会
- 3 後援 (公財)富山県スポーツ協会
- 4 協賛 (株)ゴーセン 内外ゴム(株) ナガセケンコー(株) 長谷川体育施設(株)
ミズノ(株) ヨネックス(株) (株)ルーセント
- 5 期 日 令和8年5月24日(日) ※天候荒天等で中止の場合がある
受付 8時10分～8時25分
開会式 8時40分
競技開始 9時00分
表彰式 競技終了後 種別毎に行う
- 6 会 場 岩瀬スポーツ公園テニスコート(砂入り人工芝 12面)
〒931-8332 富山県富山市森5-1-17 TEL076-438-4880
- 7 種 別 選手の年齢起算日は、2026年4月1日現在の満年齢とする。
【男女共通】 ○ 一般 年齢制限なし
○ 35 35歳以上
○ 45 45歳以上
○ シニア50 50歳以上
○ シニア55 55歳以上
○ シニア60 60歳以上
○ シニア65 65歳以上
○ シニア70 70歳以上
○ シニア75 75歳以上
- 8 参加制限 申込は1人1種別に限る。
参加申込数が8ペア未満の種別が発生した場合は、若い種別に組み入れる。
- 9 ルール ソフトテニスルールブック(2026.4.1発行版)による(7ゲームマッチ)
※初戦の審判は、本部からの指定審判、以降は敗者審判とする。
決勝は本部で審判する。
- 10 大会使用球
(1) アカエム (一般男子・男子35・男子45・シニア男子50・シニア男子55)
(2) ケンコーボール (一般女子・女子35・シニア男子60・シニア男子65・シニア男子70・シニア男子75)
(3) ダンロップ (女子45・シニア女子50・シニア女子55・シニア女子60・シニア女子65・シニア女子70・シニア女子75)

11 参加資格 ※公認審判員制度の有資格者で、県連会長の推薦があること。

- (1) 大学生は、北信越学生連盟に所属していること。
- (2) 高校生は、各県男女2ペア以内とし、所属校の校長の承認を得た者。
- (3) 中学生は、各県男女2ペア以内とし、所属校の校長の承認を得た者。
- (4) 他県連所属の選手および大学生と組んで出場することができる。

所属県連の承認を得ていずれかの県連より申し込むこと。

12 参加料 1ペア 3,000円

(会員登録制度の未登録者が含まれている場合は、1ペア4,500円)

13 試合方法 全てトーナメント戦(7ゲームマッチ)

14 申込方法 県連が集約し、種別毎・実力上位順に記入し、参加料・弁当代を添えて申し込むこと。

- (1) 申込先 富山県ソフトテニス連盟 事務局(詳細は申込書に記載)
- (2) 申込期日 令和8年4月24日(金) 期日厳守

15 宿泊 北信越ソフトテニス連盟の申合せにより斡旋しない。

16 昼食 昼食を希望する者には、弁当950円/個で斡旋する。申込書に記載してください。

17 参加の条件

- (1) ユニフォームおよびシューズは「ユニフォーム等の着用基準」を遵守した製品を着用すること。
なお、ユニフォームはペアとして同一のものを着用することが望ましい。
- (2) ラケット、ストリングは(公財)日本ソフトテニス連盟で公認された製品を使用すること。
- (3) 所定時刻までに受付を完了し、開会式にはユニフォームを着用の上、必ず参加すること。
- (4) 昨年度の優勝者は、優勝杯を整備し開会式において必ず返還すること。
- (5) 日本連盟指定のゼッケンを着用し必ず四隅を止めること。未着用の場合は大会に参加できない。
- (6) 公認審判員ワッペンおよびイエローカードを携行し、審判を担当するときはワッペンを左胸に着用すること。
- (7) 入賞者は、ユニフォームを着用の上、必ず表彰式等に参加すること。
- (8) 参加者は、大会前に健康診断を受ける等、大会期間中は健康管理に十分留意すること。
また、マイナ保険証または資格確認書を持参すること。なお、大会期間における会場への移動、駐車場内、試合中、その他の事故について、大会主催者は一切の責任を負わない。
- (9) 本大会に係わる映像等の広報についての活用と一切の権利については、連盟に帰属し、承諾するものとする。

18 その他

- (1) 参加料は、天候等の状況により中止となった場合でも返金しない。
- (2) 本大会の一般男女の優勝ペアは、「2026年度 第81回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権」の北信越ブロック推薦選手とする。
(参考・・・技術等級制度SP以上の有資格者であること。)